

2 ミドル・シニア調査

富 坂

ミドル・シニア（50歳～64歳）の方を対象とした調査

【記入にあたってのお願い】

- ◆ 回答は、あて名のご本人がお答えください。
- ◆ ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などがご本人の意向を汲み取り、代わりに回答してください。

◆ あなたご自身、お住まいについて ◆

F 1 あなたの年齢（令和元年10月1日現在）をお答えください。

[] 歳 ※年齢を記入してください

問 1 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（1つに○）

- 1. 持家（一戸建て）
- 2. 持家（集合住宅）
- 3. 公営賃貸住宅
- 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
- 5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
- 6. 借家
- 7. その他（ ）

問 2 あなた現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられるお住まいだと思いますか。（1つに○）

- 1. はい
- 2. いいえ

問 3 現在のお住まいに関して、不便を感じていること、不安を感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 居室などに手すりがない、または段差があり不便
- 2. エレベーターがなく、階段の昇り降りがある
- 3. 老朽化や耐震に不安がある
- 4. 自宅の支払いについて、まだローンを支払っている
- 5. 家賃が高い
- 6. 契約の更新ができない
- 7. その他（具体的に： ）
- 8. 特にない

◆ 日常生活について ◆

問 4 あなたは、現在の生活で不安に感じていることはありませんか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 自分の健康に関すること
- 2. 自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること
- 3. 介護をしてくれる人（家族等）がいないこと
- 4. 夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと
- 5. 友人や地域との交流がないこと
- 6. 財産の管理や相続に関すること
- 7. 犯罪や悪質荷法に関すること
- 8. 地震などの災害時の備えや対応方法
- 9. 家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと
- 10. 自分の外出回数が減っていること
- 11. ひきこもりの家族がいること
- 12. 家族の慢性疾患や障害に関すること
- 13. その他（具体的に： ）
- 14. 特にない

問 5 65歳以降どのような働き方を希望しますか。（近いもの1つに○）

- 1. フルタイムでの勤務（例：常勤の社員）
 - 2. パートタイムでの勤務（例：パート、アルバイト）
 - 3. いきがい就業（例：シルバー人材センター）
 - 4. 仕事はしたいが、できない（あてはまるものすべてに○）
 - 5. 仕事はしない
- 理由：1. 介護 2. 健康面 3. その他（ ）

◆ 介護等について ◆

問6 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、あなたはどのようなことが必要だと考えますか。(3つ以内)○

1. 相談体制や情報提供が充実している
2. 身近な人による見守りや助言がある
3. 住診などの医療サービスが整っている
4. 夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある
5. 認知症介護サービスの充実や地域の理解がある
6. 家事などの生活を支援するサービスがある
7. 介護に適した住宅に改修する、又は住み替えができる
8. 家族介護者を支援してくれる仕組みがある
9. 契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある
10. 災害時に支援してくれる体制がある
11. その他(具体的に:)
12. 特にない

問7 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(最も近い考え1つに○)

1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい
2. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅(※)に住み替えたい
3. 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい
4. その他(具体的に:)

(※) サービス付き高齢者向け住宅…高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する、都知事への登録をした住宅

問8 あなたは、終末期(※)をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

1. 自宅
2. 病院
3. 特別養護老人ホームやグループホーム
4. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
5. その他(具体的に:)
6. わからない

(※) 終末期…治療で回復の見込みがなく、数週間～数か月のうちに死亡するだろうと予測される状態になった時期

問9 あなた(あて名のご本人)は、ご家族、又は身近な方の介護をしていますか。(1つに○)

*ホームヘルパーやボランティアとしての介護は除きます。

1. 現在、介護をしている → 問9-1へ
2. 過去に介護をしたことがあるが、今はしていない → 問10へ
3. 介護をしたことはない → 問10へ

【問9で「1. 現在、介護をしている」に○をした方におかがいします。】

問9-1 問9で今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしていきますか。(1つに○)

1. している
2. していない

【問9-1で「1. している」に○をした方におかがいします。】

問9-2 介護される人及び子ども等全員とその人数をお答えください(あてはまるものすべてに○をし、その人数を記載してください)。

1. 親() 2. 子() 3. 配偶者 4. その他(続柄)()

【すべての方におかがいします。】

問10 あなたは、高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこととはどんなことですか。(5つ以内)○

1. 高齢者クラブなど交流の場の提供
 2. 生涯学習
 3. 就労支援
 4. 健康管理、介護予防
 5. 高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援
 6. 声かけや見守りサービスの充実
 7. 認知症高齢者に対する支援
 8. 高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援
 9. 介護保険やサービスの情報提供
 10. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
 11. 相談体制の充実
 12. 地域におけるボランティア組織の育成
 13. 8050問題への対応
 14. ヤングケアラー問題への対応
 15. ダブルケア問題への対応
 16. その他
- 具体的に:
17. わからない
 18. 特にない

※ 8050問題とは … 80代の親と50代の子の親子関係を例えとして、親の高齢化や子どもの引きこもりの長期化に伴い、収入や介護などに關しての問題が生じ、生活が困難な状態になること。
ヤングケアラー問題とは … 子どもが家族の介護を行うことで重い負担を負い、子ども自身に影響を及ぼす問題。
ダブルケア問題とは … 高齢化、核家族化等により、子育て等と同時に介護を行うことで負担が増す問題。

◆ 認知症について ◆

問 12 あなたは、認知症についてどのようなことをご存知ですか。
(知っているものすべてに○)

1. 認知症の種類によっては、治るものもある
2. 認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる
3. 認知症の症状は、対応の仕方によって改善することがある
4. 1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる
5. 自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる
6. 区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポート医（※）がいる
7. 高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である
8. 成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる
9. 知っているものはない

（※） 認知症サポート医…認知症サポート医養成研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や高齢者あんしん相談センター等との連携役となる医師

問 13 あなたは、認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用すると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 高齢者あんしん相談センター
2. 区役所の相談窓口
3. 認知症疾患医療センター（順天堂大学医院の専門窓口）
4. 医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）
5. 認知症家族会の相談窓口
6. もの忘れ医療相談（高齢者あんしん相談センターの嘱託医）
7. かかりつけ医、又は認知症サポート医
8. 相談しない

◆ 区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）を富坂・大塚・豊坂・駒込地区に2か所ずつ設置しています。

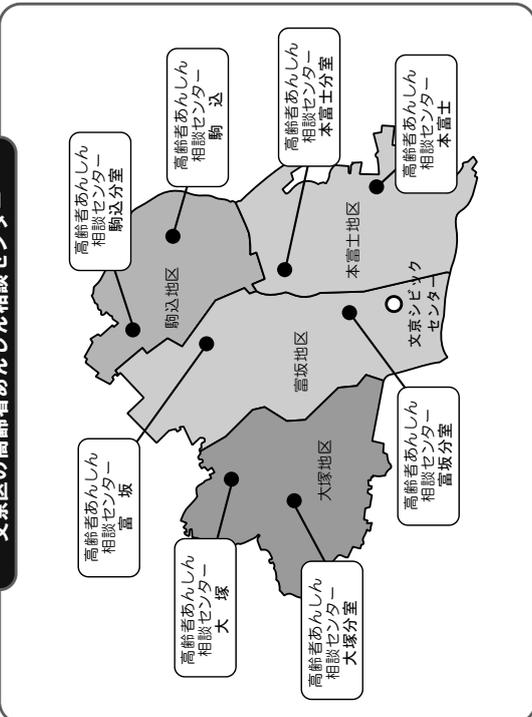
【主な業務】

- 介護保険、高齢者福祉サービス、介護予防サービスについての相談・申請受付
- 高齢者の抱える介護、介護予防、生活上の悩みなどについての相談
- 高齢者虐待についての通報・相談

問 11 あなたは、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）をご存知ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 名前を聞いたことがある
2. どこにあるか知っている
3. センターの役割を知っている
4. 相談や連絡をしたことがある
5. 知らない、聞いたことがない

文京区の高齢者あんしん相談センター



問14 あなたは、認知症に関する区の事業についてどのようなことをご存知ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症に関する介護予防事業
2. 認知症サポート医による、もの忘れ医療相談
3. 認知症家族交流会
4. 認知症介護者教室
5. 認知症講演会
6. 認知症カフェ（ふんにこ）
7. 認知症サポートーター養成講座
8. 「うちに帰ろう」模擬訓練（認知症の症状による行方不明対応模擬訓練）
9. 徘徊探索サービスの利用申込料金助成
10. ただいま！支援SOSメール
11. 認知症ケアバスハンフレット
12. 知っているものはない

問15 認知症について知りたいたいと思ったとき、どのような方法で情報を収集しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 医療機関の相談窓口
2. 医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）
3. 行政機関の相談窓口
4. 行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）
5. 行政機関が発信する広報や各種ハンフレット
6. 医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）
7. 家族、友人、友人の口コミ
8. その他（ ）

◆ 健康・介護予防について ◆

問16 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とても良い
2. まあ良い
3. あまり良くない
4. 良くない

問17 あなたは、健康の維持・増進のため、現在取り組んでいることがありますか。
(1つに○)

1. 取り組んでいることがある → 問18へ
2. 特に取り組んでいることはない → 問17-1へ

【問17で「2. 特に取り組んでいることはない」に○をした方におかがいします。】
問17-1 取り組んでいない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分は健康なので必要がないから
2. もう少しい体の状態に自信がなく
3. 休んでからでも遅くないから
4. 仕事をしているから
5. 興味はあるが取り組み方がわからないから
6. 面倒で気が進まないから
7. 興味をもてないから
8. 知らなかったから
9. その他 (具体的に：)
10. 特に理由はないから

【すべての方におかがいします。】

問18 あなたは、健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする
2. 栄養バランスに気をつけて食事をする
3. よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける
4. 区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する
5. 地域の運動グループやサークルなどに参加する
6. 地域活動（町会・自治会・高齢者クラブ等）をする
7. ボランティア活動をする
8. 家族、友人、知人と交流する
9. 趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする
10. 仕事をする
11. 特に取り組むたいことはない

◆ 医療について ◆

問19 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症（脂質異常）
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
8. 胃腸・肝臓・胆のこの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11. 外傷（転倒・骨折等）
12. がん（悪性新生物）
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他（ ）

問20 あなたには、かかりつけ医・かかりつけ歯科医・薬局（※）がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. かかりつけの医師がいる | 3. かかりつけの薬局がある |
| 2. かかりつけの歯科医師がいる | 4. どれもなし |

（※） かかりつけ医・歯科医・薬局… 普段からかかりつけている患者の健康状態や病歴のことなどを把握しており、医療や健康に関することを気軽に相談できる医師、歯科医師や薬局のこと。医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含まれます。

◆ 地域での活動について ◆

問21 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑦それぞれに回答してください。（それぞれ1つに○）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加しない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問22 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

問23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

◆ たすけあいについて ◆

◆ あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

問24 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | () |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問25 問24とは反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | () |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問26 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | () |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問27 問26とは反対に、看病や世話をしてあげる人（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | () |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

◇ 長時間にわたって調査にご協力いただき、ありがとうございました。

◇ ご記入いただいた調査票は、**10月25日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。**